



消防団広報



第四十一号 二〇十九年十月
編集・発行
桑名市大字江場七番地
桑名市消防団 情報部会

INDEX

2P_水防訓練

3P_幹部視察研修・新人教育

4P_方面団訓練

女性消防団は、
5ページです！



消防団広報バックナンバーは、
桑名市HPでもご覧いただけます。

安心・安全



スマホなら
こちらから

消防本部

消防団

桑名市消防団広報

水防訓練

五月二十六日

暑い日差しの中、長島運動公園にて、桑名市水防訓練が実施されました。

訓練の目的は、水防計画に基づき、近年各地で発生しているゲリラ豪雨や大型台風による洪水を想定した各種工法を実施し、洪水時の水防作業の確認と能力向上に努め、団員一人一人の水防思想の拡大と高揚を図ることです。

全消防団員がライフジャケットを身にまとい、「土のう拵え工を開始せよ！」の号令で訓練が開始されました。始めに、土のうを作り、各大隊に分かれて釜段工法・竹流し工法・積土のう工法・月の輪工法を分担で受け持ち、それぞれが持ち場の訓練に汗を拭いながら真剣に取り組みました。

記憶に新しい昨年発生した西日本豪雨など、今後も災害が発生する恐れがあることについて、私たちが住む桑名市もこうした訓練等の準備が必要です。

いつ災害が発生しても対処できるよう訓練に努め、市民の大切な命を守るよう有事に備えています。

(表紙の写真です)

九月四日の豪雨で十一個分団七十五名が活動しました。

伊勢湾台風六十周年防災訓練

七月十四日

イオンモール桑名で行われた訓練に桑名方面団第六分団(大成・大和)が参加しました。



団長任命

三月三十一日付にて前団長の柴田清勝氏が退団され、四月一日より新団長として中久木治氏が任命されました。

また、桑名方面団長に内山茂氏、桑名方面団副団長に後藤正利氏、多度方面団副団長に石川佳央氏が任命されました。

桑名市消防団長任命にあたり



桑名市消防団長に任命されました、中久木 治です。

団員歴三十八年
年齢は六十四歳です。

平素は消防団活動にご理解ご協力を頂きありがとうございます。

さて近年、地球温暖化による台風の巨大化や、狭い地域への大雨、今にも起こるのではないかと言われている南海トラフの巨大地震など、甚大な被害をもたらすような災害が起こった時、いち早く出動

するのは消防団です。まずは、団員の安全を第一に考えた活動を心掛け、地域に密着した速やかな活動を行えるように日々努力して参りたいと思います。

また、四月一日現在、桑名市消防団員数は655名、定員から120名以上の団員が不足となっております。より良い活動を行う事が出来まよう、皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



桑名方面団長
内山 茂



桑名方面団 副団長
後藤 正利



多度方面団 副団長
石川 佳央

より良い薬を手から手へ
家族の健康は みんなの幸せ

桑名市消防団サポーター：三重県桑名市長島町又木 28-2 長島ショッピング内：TEL：0594-42-1188

断薬相談、アレルギー、痛み相談は ヒラノ薬局

幹部視察研修

四日市中消防署中央分署
名古屋市港防災センター

六月九日
中久木団長以下三十三名が
参加しました。

午前中は四日市・桑名・菰野あわせて六十万人の生命と二十四万五千世帯の財産を守る三重北消防指令センターの施設を見学しました。災害発生場所を特定する「発信地表示システム」「車両動態管理システム」など、最先端高機能119番通報の体験をしました。その後、四日市市と千葉県市原市に最初に配備されたという、150mmの大口径ホースによる1km先まで最大毎分8000Lの送水と放水が可能な「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」を見せていただきました。また、聴覚や言語に障害のある方からの119番通報に対応するNET119（WEB119）についても学びました。

午後からは、名古屋市港防

災センターで伊勢湾台風から六十年という節目に、当時の映像と3Dシアターによる水の害の恐ろしさを学習しました。また、暗い建物内での避難難体験と震度7の地震体験もでき有意義な一日となりました。



ドラゴンハイパー・コマンドユニットの説明



地震の時は、だんごむしのように丸まって

今後は、「地震の時は、だんごむし」を合言葉に地域の防災広報に努めたいと思います。

新人教育

四月二十一日

天候にも恵まれ、長島防災コミュニケーションセンターにて新人訓練が行われました。

基本動作や礼式を学ぶ規律訓練と、ホースの延長や接続などを学ぶ器具取扱い訓練を実施しました。

初めての訓練に緊張や戸惑いを見せる場面もありましたが、本職の消防職員の方々の丁寧な指導もあり、日頃経験する事がない動作なども少しずつ慣れていきました。

各方面団から様々な年代の方が参加していましたが、皆一生懸命に訓練に励んでいました。



消防職員による器具取扱いの説明

新任紹介

四月一日付

分団長

桑名方面団

第五分団(益世)

第十一分団(深倉)

第十三分団(城南)

多度方面団

第一分団(中)

第二分団(東)

第四分団(西)

第五分団(北)

長島方面団

第二分団(中部)

第四分団(伊曾島)

第五分団(伊曾島)

小杉 悟

杉野 直樹

金森 功

塚原 雄太

岡田 英朗

伊藤 雅也

水谷 直貴

佐野 元洋

二本柳 武

伊藤 孝夫

市川 貴博

まだまだ日々の訓練の積み重ねも必要ですが、地域の方々の安全・安心のため、少しずつ努力していこうと思います。



規律訓練の様子



内装工事・カーテン・壁紙・床材・水廻り・リフォーム

信頼と実績

地元密着

見積無料

有限会社 **オガワ**

詳しくはホームページ

内装のオガワ

検索

坂井橋を渡って、イオン東員方面です。

桑名市島田1100-1

0120-88-2303

星川駅 徒歩15分

桑名方面団

春季教養訓練

三月三日
春の火災予防運動の一環として、立田町地先揖斐川堤防河川敷において放水訓練を行いました。

訓練内容は、揖斐川から可搬式ポンプで簡易防火水槽に注水し、各分団消防車にて第一標的に放水しての順次落とす。次に、穴を開けたドラム缶を標的に放水し缶いっばいに注水しました。
火災時における的確な操作技術に関する訓練を行いました。



長島方面団

消防技術競練会

三月三日
長島防災コミュニティセンターにおいて平成三十年年度最後の行事として、長島方面団消防技術競練会を実施しました。

各分団が待機場所にて、団本部からの出動命令の無線を受信・心算後に車両を発進し、設定されたルートを走行して水利部署に向かいます。

到着後、指揮者の号令と共に操作を開始、第一標的の円盤標的へ放水し、目的の色板を落下後、第二標的のドラム缶注水、最後に第三標的の火点標的二枚を倒して終了しました。



結果は、次の通りでした。
優勝 第二分団(中部)
準優勝 第四分団(伊曾島)
第三位 第五分団(伊曾島)
惜しくも、上位入賞を逃した分団は、今回の反省点を各分団で話し合い、来年に向けて決意を新たにしていました。

多度方面団

規律、水防訓練

五月十二日

新入団員を迎えた多度方面団では、多度すこやかセンター駐車場及び、多度地区市民センター西駐車場にて規律訓練・水防訓練を実施しました。前半に基本的な姿勢や敬礼などの動作を確認する規律訓練と、ホースの取り扱いに関する基本的な知識、技術、手順の確認のための訓練を行い、後半は梅雨時期や台風時期に備え、水防訓練を行いました。消防職員の方々にご指導をいただきながら、個々の知識や能力、防災意識等の維持向上のため、各団員が訓練に取り組みました。

鍛冶町守る隊

防犯・防災組織「鍛冶町守る隊」が発足し、初代隊長に桑名方面団第二分団(立教)の伊藤司員が任命されました。



今後も地域の情報を上げていきます。

約半日の訓練でしたが、とても内容の濃い訓練であり、今後も地域防災に役立てる様に努力いたします。



武藤牧場直売店

山嘉では、地元桑名の 武藤牧場 で肥育した
黒毛和牛を直売させていただいております。

電話0120-55-4129

桑名市蓮花寺1576-1

牛ふん堆肥
無料です

武藤牧場直売店 山 嘉



桑名市女性消防団



2019年秋



防災フェアin桑名2019

7月13-14日にイオンモール桑名で開催され、
女性消防団は心肺蘇生法指導で参加しました。
伊勢湾台風60周年の防災訓練も駐車場で行われました。



女性消防団の活動はブログでもご覧いただけます。

桑名市女性消防団 検索 ←検索するか

QRコードで→



消防団員向けの
応急手当講習



5月26日
桑名市水防訓練



各地域の防災訓練での
指導啓発活動



地域のために女性の優しさ・細やかさを活かして、
一緒に活動しましょう！ 団員を募集しています。

くわしくは→ 桑名市消防本部 総務課 TEL24-5274





消防団広報にご意見ください!!

どんなことでも結構です!

こんな情報
が知りたい



この記事が
良かったよ



消防団広報は皆さんと消防団をつなぐ情報誌です。
市民の皆さんにより親しまれる消防団広報となるため、
あなたのご意見をお聞かせください。

ご意見・ご要望は、桑名市消防本部総務課消防団担当まで

電話 0594-24-5274 FAX 0594-24-5287

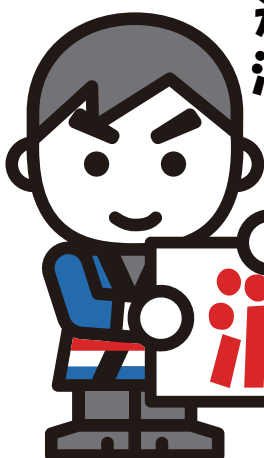
メール shobom@city.kuwana.lg.jp

近い将来必ずやってくる大災害

消防団の力が求められています

自分たちの街は

自分たちで守りましょう!



消防団員募集!



近年では、東日本大震災等の教訓を踏まえ「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」も施行され、消防団の重要性が見直されています。しかし、全国的に深刻な団員不足が問題になっています。消防団には、会社員や公務員はもちろん、主婦や大学生も入団できますし、活動に応じた手当も支給されます。

申込み・問合せは、桑名市消防本部総務課消防団担当まで

電話 0594-24-5274 FAX 0594-24-5287

メール shobom@city.kuwana.lg.jp

女性消防団のページは5ページに掲載しました。防災豆知識のページはお休みしました。